赤い羽根　新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン
フードバンク活動等応援助成

いせフードドライブ
事業活動報告書

～　生活に困っている子どもや家族のために　～

社会福祉法人　伊勢市社会福祉協議会

現在、伊勢市社会福祉協議会では、市内の各家庭や企業等から寄付いただいた食品や食糧等を活用し、生活困窮者等の支援を必要としている世帯や支援団体に無償で食糧等を提供する「フードドライブ」を推進しています。

生活困窮者、子ども食堂や福祉施設等とのマッチング

食糧品等の提供

- 市民
- 浦口婦人会
- NPO 男女共同参画 れいんぼう伊勢
- 伊勢市ボランティア連絡協議会
- フードバンク ISE
- フードバンク多文化みえ
- 認定 NPO 法人 藍ちゃんの家
- コープみえ
- 伊勢商工会議所女性部
- 伊勢米穀企業組合
- 株式会社丸中商店
- わらしべ　　等

⇨

社会福祉協議会

⇨

- 生活困窮者支援
- 子ども・地域食堂

運営：ボランティア
まちづくり協議会
福祉施設
児童センター　等

⇨

- 児童養護施設
- 母子寮
- 障がい者施設

新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に困っている子どもや家族、一人暮らしの大学生や専門学校生等を支援するため、「赤い羽根　新型コロナ感染下福祉活動応援全国キャンペーン　フードバンク活動等応援助成」に申請し、6月～8月の3ヶ月間、いせフードドライブ事業を拡大して展開しました。

１．事業内容

（１）生活困窮者等

希望者に一人当たりお米2合×7日間分を提供しました。

実施月	6月	7月	8月
配布世帯	29世帯	８世帯	15世帯

（２）学習支援事業利用者

6月３日（水）～4日（木）の２日間、協力団体と連携して、フードチョイス（フードパントリー）を実施しました。冷凍食品を活用したお弁当やお花などを、25世帯に提供しました。

実施日	6月3日	6月4日
配布世帯	15世帯	10世帯

（3）一人暮らし大学生・専門学校生等

市内の大学や専門学校に通学している一人暮らし学生を対象として、希望者122名（内、34名は外国籍）に、お米5kg等を提供しました。

※学生122名にアンケートを実施しました。一人暮らしの大学生等の状況は次のページに記載してありますので、ご一読ください。

フードバンク
活動等応援助成

いせフードドライブ事業のご案内

この度、赤い羽根新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン（フードバンク活動等応援助成）を活用し、一人暮らしをされている学生の方々に、食糧を無償で提供することになりました。是非、日々の食事の一部としてご活用ください。
なお、一定数を用意していますが、無くなった場合にはご了承ください。

〔対　　象〕

市内大学・専門学校に通学している一人暮らしの学生等

〔提供の内容・回数〕

お米５kg、カップラーメン５個、缶詰２個等

〔提供期間・時間・場所〕

令和２年８月３日（月）～８月１４日（金）

１６：００～１８：００（土・日曜日・祝日は除く）

伊勢市福祉健康センター（伊勢市八日市場町１３－１）

申し込み方法（先着順）
希望者は、学生証等をご持参の上、伊勢市福祉健康センターまで、お越しください。

【申し込み・問い合わせ先】

社会福祉法人　伊勢市社会福祉協議会
伊勢日常生活自立支援センター
TEL　0596 - 20 - 8618
E-mail　ise-kenriyougo@mie.email.ne.jp

2．今後に向けて

この度、本会では「いせフードドライブ事業」の強化を図り、生活に困られている方々の支援を行ってきましたが、本会に相談に来られる状況は続いており、今後も現在の不安定な状況が続くことが予測されています。

今後も、お互いがたすけ合いながら、この危機を乗り越えていけるような地域を目指し、地域福祉の充実を図っていきたいと考えていますので、引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

いせフードドライブ事業アンケート結果

〔実施期間〕　令和２年８月３日～令和２年８月 14 日）
〔配 布 数〕　122 名（回収数：122 名、回収率：100％）

１．あなたの学費や生活費などに使用している、お金（収入）について教えてください。

理由（複数回答可）	件数
アルバイトなどの賃金	109 件
親からの仕送り	52 件
助成金	14 件
その他（友人からの借金）	2 件

２．新型コロナウイルス感染症の影響により、あなたの生活はどのように変わりましたか。

・アルバイトの回数（収入）が減った。
・食事回数が減った（不規則になった）。
・外出が出来なくなり、１回の食べる量が減った。
・以前よりも食事にかけるお金を減らした（自炊する日が増えた）。
・新しいアルバイト先が見つからず、収入が無い状態。
・睡眠時間が短く、夜型の生活になった。
・カップラーメンを食べる回数が増えた。
・仕送りが減った。
・食パンだけの生活の日がある。
・買い物するにも外に出づらくなった。
・友達と会う日数が減った。
・人との距離をとるようになった。
・マスク生活になった。

３．あなたの生活で、現在、困っている事があれば、教えてください。

・アルバイトの回数（収入）が減った。生活費の減少。
・消毒液（アルコール）がない。
・マスクが足りない。特に紙マスクが少ない。
・実家に帰ることができない。
・食料がない。２～３ヶ月に１回程度食料を頂ける機会がほしい。
・外出（外食、遠出）することが不安。
・ガス代が高いので、料理がしづらい。
・税金や保険料が増えている。

４．今後、社会福祉協議会にご要望やご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

・今回の様な食料の支給などがあると助かる。
・今後も、２ヶ月に１回程度開催してほしい。
・洗えるマスク（再利用できるもの）を配ってほしい。
・この事業をもっと周知してほしい。
・様々な情報を届けてほしい。

【寄付者へのメッセージ】

・このような機会を設けていただき大変有り難く感じます。私自身も協力できることはしていきたいと思います。
・とても助かりました。本当に有難うございました。
・一人暮らしをしていると、お米は本当に助かります。
・コロナに負けないように頑張ります。
・大変な事が多く、辛い日々が続きますが、身体にはお互いに気を付けて頑張りましょう。
・このキャンペーンのおかげで支出をかなり抑えることができました。
・大切に使いたいと思います。
・素晴らしい事業だと思います。元気に暮らせそうです。
・地域貢献したいと思います。
・ご支援のおかげで、美味しい食べ物をいただけます。このような時勢、人と人とのつながりを大きく再確認しました。本当にありがとうございました。共に生き抜きましょう。
・この感謝の気持ちを忘れずに、勉学に励み、恩返しとさせていただきたいです。

フードバンク
活動等応援助成

軽量ラックと青色のコンテナボックスは、赤い羽根フードバンク活動等応援助成金で購入させていただきました。

この報告書は、「赤い羽根　新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン　フードバンク活動等応援助成」を受け、作成しました。

令和2年10月発行

社会福祉法人　伊勢市社会福祉協議会

〒516－0804　三重県伊勢市御薗町長屋２７６７番地
TEL　０５９６－２０－８６１０（代表）・FAX　０５９６－２０－８６１７
E-mail　iseshakyo-honsyo@mie.email.ne.jp　HP　https://ise-shakyo.jp/